

第52回 こくみん共済 coop

小学生作品コンクール

作文と版画
入賞作品集
—茨城県—

テーマ 作文：ありがとう
版画：自由課題



こくみん共済 coop 茨城推進本部

こくみん共済 coop 茨城推進本部

本部長 菅原 功



日ごろより「こくみん共済 coop」の諸活動に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

こくみん共済 coopは、営利を目的としない保障の生協(生活協同組合)として、共済事業を運営している福祉事業団体です。「みんなで助けあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念にかかげ、働く仲間や、地域の生活者とそこご家族が、安心・安全で豊かな暮らしを築いていけるように活動しています。また、共済事業に加え、社会貢献活動や文化教育活動にも積極的に取り組んでいます。そして本年度も、「子供の健全育成」を目的とした小学生作品コンクールを開催させていただきました。

さて、昨年を振り返ると、地震や台風、線状降水帯による水災、山林火災や大規模火災が各地で発災しました。被災された皆さまには心からお見舞いを申し上げます。また、8月には記録的な猛暑により国内各地で最高気温が更新され、「災害級の暑さ」と報道されました。こうした異常気象は地球温暖化が要因だと推測されていて国際的な課題にもなっています。さらに、国内で発災した異常気象が要因と思われる災害は10年前と比べて1.4倍に増加し、頻発化・激甚化しています。こくみん共済 coopは、これからも助け合いの心を大切にして、会員皆さまの暮らしに寄り添った事業運営を行なっていく所存です。

こくみん共済 coopの共済事業の始まりは、1954年に「誰もが入れる保障があれば、安心して働ける」、「みんなが力を合わせれば実現できる」という思いが結実し、大阪の地で火災共済事業がスタートしました。これまでの間、いくえもの災害に直面し、その都度「住んでいる共済(火災共済・自然災害共済)」の重要性を実感してきました。特に、本年3月11日で発災から15年目を迎える東日本大震災は忘れることができません。15年前のあの日、あの瞬間を皆さんも覚えていると思います。15年前を教訓にして「防災・減災」に対する備えの点検活動を怠らないでもらいたいと思います。現在、こくみん共済 coopの保障ラインアップは、お住いの保障以外にも、それぞれのライフスタイルに沿った各種共済をご用意しています。お車の保障は「マイカー共済」、生命・医療の保障は「こくみん共済」など、生活者の立場にたってお役立ち活動を実施しています。お近くの窓口へお気軽にご相談ください。

そして、1973年(昭和48年)から実施してきた小学生作品コンクールも、本年度で52回目を迎えることができました。この作品コンクールは、次の世代を担う子どもたちの表現力や創造力の醸成と、心の成長を願いながら取り組んできました。今回も県内の児童の皆さんから650件を超える素晴らしい作品をお寄せいただきました。そして、応募いただいた「作文」と「版画」の作品を出来るだけ多くの方々にご覧いただくため、今回も「入賞作品集」茨城県版を発刊いたしました。ぜひ、今後の作品製作に役立てていただければと思います。こくみん共済 coop茨城推進本部は、小学生作品コンクールを通じて子どもたちの「やさしさ」や「おもいやり」の気持ちを育む場として、お役に立てるよう引き続き取り組んでまいります。

最後に、作品コンクールの実施にあたりご指導いただきました各学校の先生方、保護者の皆さま、ご後援いただきました茨城県、茨城県教育委員会、NHK水戸放送局、(株)茨城新聞社、(株)LuckyFM 茨城放送、ならびに作品の審査を行っていただきました審査員の先生方に心から感謝を申し上げ、発刊にあたってのご挨拶といたします。ありがとうございました。

第52回 こくみん共済 coop

小学生

作品コンクール

作文と版画

｜ 入賞作品集 ｜ 茨城県 ｜

目次

作文の部

金賞作品	1
選評・総評	4

版画の部

コンクール入賞者	5
金賞作品	7
銀賞作品	13
学校賞・最優秀学校賞	19
・審査員奨励賞	20
総 評	21
応募学校一覧	23
これまでの作品テーマ	24



茨城県立水戸聾学校（5年） 櫻井 悠さん
いつか伝えたい気持ち

2

いつか伝えたい気持ち
水戸ろう学校 五年 櫻井 悠

「お母さん、ありがとう。」
ぼくは、お母さんに心の中でそう言いました。
ぼくは、耳が少し聞こえにくくて、補聴器を使っています。去年までは、地元の小学校に通っていました。でも、困っていたこともあり、勉強です。小学校では、教室で三十六人が一緒に勉強をしていました。たくさん友達がいて、ちよつとうるさくてよく聞こえないことが多かったです。先生の話が聞こえないと、分からないことが多くなって、「勉強は、もういやだ」という気持ちになりました。そんな時に、ぼくとお母さんと先生でろう学校への転校の話し合いをすることになりました。ろう学校なら、静かな教室で勉強ができるからです。ぼくは、苦手な算数が得意になるようになりました。字がきれいに書けるようになったり、行きたいと思

3

4

いきました。でも、家が学校と遠いから、月曜日から金曜日まで、学校にある寄宿舎という所に泊まること、友達と手話を使って話すことなど、心配なこともありました。少し悩んだけれども、「がんばろう、ぼくなら大丈夫だ」と思い、ろう学校へ行くことを決めました。
初日に、みんなの前で自己紹介をしました。周りをみると、先生がたくさんいて、きんちようし、足がふるえたことを今でも覚えていいます。
ろう学校での生活は、小学校とはちがいました。クラスの友達は二人だけでした。二人は、手話をあまり使わなくても話すことができたから、すぐに仲良くなることができました。勉強も、静かな教室で担任の先生がゆっくりと話してくれるから分かりやすかったです。だんだんと自信がついて、算数が得意になりました。
寄宿舎では少し困っていること

6

学期よりも上手になつてきました。寄宿舎での生活に慣れてきたと思ひました。でも、ある日、外国で人が殺されてしまう番組をテレビで見つて、眠れなくなつてしまひました。こわくて、不安で、お母さんのことが心配になり、急に悲しい気持ちになりました。よく眠れない日が続いて、寄宿舎に泊まる日には、「眠れるかな」と心配になり、不安でした。お母さんと一緒に安心して眠れるから、家に帰りたくなりました。お母さんと会えない

5

もありません。一学期は、今まで家でやっていたのがない洗たくやそうじのやり方を覚えて自分ですることが難しかったです。でも、寄宿舎と一緒に泊まる友達ができて、楽しく過ごすことができました。お母さんがいなくてもさびしくなくて、夜によく眠ることができました。二学期になると、洗たくを自分でしたり、おふろで頭をきれいに洗ったりすることができようになるようになりました。苦手なそうじも、一

8

とが難しいことを分かつていました。お母さんは、仕事をしているからです。それでも、ぼくを心配して考えてくれました。悩んだ後には、お母さんは、「後で、寄宿舎の先生に電話をするね」と言つて、仕事に行きました。学校ですごくしていると、だんだん気持ちが悪くなり、朝のことを考えました。さびしいけれど、ぼくもお母さんのためにがんばろう」と思ひ、先生からお母さんに、

7

日はさびしいです。会いたいです。家では、好きな食べ物が食べられるし、ゲームもできます。家で過ごす休みの日が好きです。お母さんとはなれると、好きなことができません。がまんができなくなり、学校に車で登校する時に、泣きながら、「お母さん、迎えに来てほしい」と言ひました。お母さんは、ぼくのことを心配そうな顔をしながら見て、「うーん」と悩んでいました。ぼくは、本当は迎えに来るこ

10 9

伝えてもらうことにしました。お母さんは、
 それを聞いて、とても安心したそうです。
 寄宿舍ですごくしている、今までお母さん
 がぼくにしてくれたことが当たり前ではない
 ことに気が付きました。そして、たくさんの
 「ありがとう」があると思いました。一緒に
 寝てくれてありがとう。ごはんのしたくをし
 てくれてありがとう。洗たくをしてくれてあ
 りがとう。一緒に買い物に行けて、うれしい
 よ。洗たく物を一緒にたたむ時間が大好きだ
 よ。毎日ぼくを育ててくれてありがとう。
 ぼくは、お母さんにこんなにもたくさんの
 「ありがとう」がありました。でも、あらた
 めて言うことは、はずかしいです。だから、
 ぼくは心の中で言いました。いつか、はずか
 しさがなくなったら、口に出してこう言いた
 いと思います。
 「お母さん、ありがとう。これからがんば
 るよ。」

プロフィール

悠さんは今年度より、地元の
 小学校から水戸聾学校に転入し
 てきました。それに伴い寄宿舍
 に入り、月曜日から金曜日まで
 親元を離れて生活しています。
 小学5年生で家族と離れて暮ら
 すことに寂しさはありますが、
 持ち前の真面目な性格で、学習
 面・生活面ともに前向きに頑
 張っています。今回の作文では、
 寄宿舍生活での寂しさを通し
 て、母の大切さを再認識した工
 ピソードを綴りました。家族と
 一緒に過ごせることが当たり前
 ではないと気づき、母に対して
 心からの「ありがとう」の気持
 ちがもてるようになった悠さ
 ん。周囲の人たちへの感謝を忘
 れない、悠さんのすてきな人柄
 が表れていると思います。

(担任教諭 倉持 靖則)

評選 ・ 総評

審査員

●
昌子佳広

茨城大学教育学部教授

他2名

今回の入賞作品は、金賞（こくみん共済○○○茨城推進本部長賞）一点のみにとどまりました。

各学年で、金賞一点、銀賞二点、銅賞六点の選出枠を設けているのですが、そもそも応募作品数がたいへん少なく、その少ない作品の中でも上記の賞に値する作品を見出すには至りませんでした。いわゆる「コロナ禍」で二〇二一年度の当コンクールが「中止」となっていました後、再開後から応募作品数は減少の一途を辿っています。かつては、学年単位で二百を超えこのコンクールが、子どもたちの作文技能を高め、磨き合える機会になればと思いますが、現状では

なかなか難しいと言わざるを得ません。



そうした中ではありますが、茨城県立水戸聾学校5年生の櫻井悠さんの作品「いつか伝えたい気持ち」は、金賞に値する作品と認められました。よい作品であったと思います。「お母さん、ありがとう」から始まるこの文章は、櫻井さんが、少し耳が聞こえにくいというハンディキャップを負いながら、それでもしっかりと勉強したい、学校で学びたいという強い希望を持ち、その気持ちに支えてくれたお母さんをはじめとするまわりの人への感謝の気持ちを綴ったものです。聾学校への入学を決意

したものの、少ない人数での授業や寄宿舎生活に戸惑う気持ち、そして何よりお母さんと離れて暮らすさびしさと、それを少しずつ乗り越えていった心の移り変わりが丁寧に記述されており、胸を打たれました。



今回のテーマ「ありがとう」は、言うまでもなく、お礼の言葉、感謝の気持ちを伝える言葉です。特段めずらしくもない言葉ではありますが、日頃、意外とあまり言えない言葉かもしれません。学校で、自分が落としたり消しゴムを拾ってくれた、教室から廊下に入ろうとした誰かとぶつかりそうに

なった、けれど相手がよけて前をあけてくれた、そんな小さな場面でも、「ありがとう」と言えているかどうか、ふりかえってみましょう。自分が誰かに、または何かに感謝の気持ちをもった経験を思い出してみましよう。



作文を書くことは、自分の日常生活や日常とは少し違う特別な経験・体験をふりかえって、そのできごとを言葉で説明しながら、できごとの中の自分の思いをほりおこしていくという行為になります。来年度には、もっと多くの作文を読み、書いた人の経験したできごとやいろいろな思いに出会えるとよいと思います。

コンクール入賞者

(敬称略)

金賞

各学年 1 点

茨城県知事賞

一匹狼 常陸大宮市立緒川小学校 (5年) 會 澤 七 夏

こくみん共済 coop 茨城推進本部長賞

本を読んでいる私 常陸大宮市立緒川小学校 (6年) 檜 山 芽 彩

茨城県教育長賞

うみのキング 坂東市立七重小学校 (2年) 風 見 遥 希

NHK 水戸放送局長賞

カブトムシとそらをとんだよ 城里町立常北小学校 (1年) 若 松 綾 人

茨城新聞社長賞

ふしぎなカメのこうら 坂東市立七郷小学校 (3年) 茂 呂 百々花

LuckyFM 茨城放送社長賞

夜に働くキリン つくば市立栗原小学校 (4年) 佐 藤 愛 茉

銀賞

各学年 2 点

水ぞくかん 常陸大宮市立緒川小学校 (1年) 松 浦 光太郎

かわいいねこ 水戸市立柳河小学校 (1年) 江 幡 夏 恋

ぴよんぴよんとぶとびうおたち つくば市立栗原小学校 (2年) 太 田 時 生

草にいるねこ 水戸市立柳河小学校 (2年) 宮 永 希 美

キャンプでおいしいお魚つれるかな 土浦市立東小学校 (3年) 小 島 瑚 牧

きにとまるふくろう 常陸大宮市立緒川小学校 (3年) 茂 呂 龍 希

ギザギザ 桜川市立真壁学園義務教育学校 (4年) 塚 原 旭

おなかがすいているねこ つくば市立栗原小学校 (4年) 石 田 弥珠希

たった一ぴきだけの黒いトンボ 坂東市立七郷小学校 (5年) 宮 本 瀬莉香

鳥のすみか 水戸市立柳河小学校 (5年) 小松崎 詩

白頭鷺の夜明け つくば市立桜南小学校 (6年) 沓 名 薫

自画像 常陸大宮市立緒川小学校 (6年) 川 上 紗 季

銅賞

各学年5点

クリスマスのサンタクロース	石岡市立吉生小学校	(1年)	ジエンキンス 凰淵
ぞうさんとおさんぽ	城里町立常北小学校	(1年)	浅野 愛音羅
うみの中でたのしもう	坂東市立七重小学校	(1年)	内海 奏風
こもどおとかけを見つけたぼく	常陸大宮市立緒川小学校	(1年)	速水 禱生
いまから学校へ行くよ	水戸市立柳河小学校	(1年)	星 優輝
海のクリスマス	つくば市立桜南小学校	(2年)	井川 泉希
海のせかい	つくば市立栗原小学校	(2年)	上山 遥大
シャチがいっぱいいる海	つくば市立栗原小学校	(2年)	水上 一星
さつまいもほり	常陸大宮市立緒川小学校	(2年)	岡崎 結羽
みつをさがすレアなカブト虫	水戸市立柳河小学校	(2年)	岩崎 はつか
2ひきのぶるどっく	常陸大宮市立緒川小学校	(3年)	石崎 果穂
わたしのすきなもの	常陸大宮市立緒川小学校	(3年)	笠井 永夏
犬もあるけるふしぎな海	常陸大宮市立緒川小学校	(3年)	佐藤 愛菜
美しい花火	常陸大宮市立緒川小学校	(3年)	長山 海翔
カピバラだけの川	常陸大宮市立緒川小学校	(3年)	柳田 琴音
いろいろな部屋	桜川市立真壁学園義務教育学校	(4年)	岩佐 彩
ふくろうの夜	つくば市立桜南小学校	(4年)	加藤 永怜椰
秋の夜長	つくば市立桜南小学校	(4年)	奈良 都彩希
海の底で光る魚	つくば市立栗原小学校	(4年)	瀧本 朔仁
海のくじら	常陸大宮市立緒川小学校	(4年)	飯塚 明拓
飛んでいる鳥	つくば市立栗原小学校	(5年)	塚田 陽葵
魔界のユニコーン	つくば市立栗原小学校	(5年)	古屋 奏菜
水そうで泳ぐメダカ	坂東市立七郷小学校	(5年)	染谷 咲和
大きな魚が釣れたよ	水戸市立柳河小学校	(5年)	今関 翼
魚と一緒に	水戸市立柳河小学校	(5年)	生沼 妃希
自主学习をしている私	常陸大宮市立緒川小学校	(6年)	大峠 咲
学校生活の一場面	常陸大宮市立緒川小学校	(6年)	清水 琉久
自画像	常陸大宮市立緒川小学校	(6年)	藤田 春牙
本を読んでいる自分	常陸大宮市立緒川小学校	(6年)	藤田 響騎
ノートに字を書いているところ	常陸大宮市立緒川小学校	(6年)	宮 永花

学校賞

最優秀学校賞

常陸大宮市立緒川小学校

審査員奨励賞

つくば市立栗原小学校

一匹狼

常陸大宮市立緒川小学校（5年） 會澤 七夏さん



プロフィール

會澤七夏さんは、明るい性格で、いつも笑顔で友達と楽しく過ごしています。また、学級ではお助け係として、給食当番の人が欠席でない時や、配付係がない時等に快く仕事を引き受けてくれます。勉強もがんばっており、どの教科にも真面目に取り組み、課題を素早く正確に解くことができます。そして、ミニティーチャーとして周りの友達にアドバイスするなど貢献しています。

この作品で七夏さんが大切にしたのは一匹狼のかっこよさをどのように表現するかです。力強い目や、耳の影の描写などに時間をかけ、何度も試行錯誤しながら丁寧に作品を作っていく様子が印象的でした。特にこだわっていたのが毛並みの表現です。額から鼻の先にかけての彫り跡には、七夏さんの観察眼の鋭さが窺えます。

（担当教諭 北島 拓海）

選評

このオオカミは何を見つめているのでしょうか。ピンと立った耳、キラリと光る眼光、何かを嗅ぎ取ったような鼻、そしてヒリヒリとした緊張感に満ちた精悍な姿。毛並みを意識した力強く、大胆かつ流れるような彫りで威厳のある、そして生命感溢れる「一匹狼」の姿をみごとに表現した作品です。動物のむずかしい毛並みの特徴を上手に捉え簡略化し、彫刻刀（丸刀）の良さを生かして彫り上げた表現技術は確かであり、ことなものです。また、背景の心象を表現した青い点描が静けさを、さらに目鼻耳への最小限の彩色が、自然界に生きる厳しさ逞しさを際立たせています。とても好感の持てるかっこいい作品です。

こくみん共済 coop 茨城推進本部長賞

金賞

本を読んでいる私

常陸大宮市立緒川小学校（6年） 檜山 芽彩さん



プロフィール

芽彩さんは、優しい笑顔が素敵な児童です。努力家で、日々の授業の復習を欠かしません。最高学年として下級生をリードしたり、宿泊学習では他校の児童との交流活動を楽しんだり、有意義な学校生活を送っています。

本作品は、クラスの友達同士で学校生活の一場面を切り取った写真を撮り合い、それをもとに作品を製作しました。芽彩さんは、1年生から毎年版画を製作しており、小学校最後の作品を良いものにしたという思いをもっていました。構図にこだわり、着色も2枚仕上げから納得のいくものを選んでいきます。彫刻刀を使い分け、表現したい物の形に沿って彫ることなどに気を付けながら、真剣に彫り進めていきました。刷り上がった作品を見て、彫り跡を生かした作品にできたことを喜んでいました。

（担当教諭 大内 なつみ）

選評

大きい本、どんな本を読んでいるのでしょうか。次のページが待ちきれないように挟み込まれた人差し指。目を見開き読みふけるその眼差しから集中している様子が伺われます。画面手前に置かれたしつかりと本をつかむ大きな手が、いっそう真剣に本を読み込む力強さを際立たせています。また、暗い背景に浮かぶシャボン玉のような心象表現は、まるで本の内容や静かな時間、ひいては作者の本を読む楽しさのようなものをみごとに表現しています。木版画の特长を十分に生かし勢いよく一気に彫り上げたなかにも豊かな表情。そして繊細さまで表現した素直で誠実なとても好感の持てるすばらしい作品です。

金賞

茨城県教育長賞

うみのキング

坂東市立七重小学校（2年） 風見 遥希 さん



プロフィール

遥希さんは、周りの人のことを考えて行動できる、思いやりの持ち主です。友達が困っているとき、優しい表情で、温かな言葉をかけています。また努力家でもあり、勉強にも運動にもあきらめずに一生懸命取り組んでいます。

今回の作品は王様と仲間達の冒険をテーマにしました。初めてカッターを使う作品だったので、「形を作るのが難しい。」と言いつつも最後まで一生懸命に取り組みました。特に真ん中にある魚の王様の強そうな雰囲気を出すために鋭い目や歯の形をカッターで上手に切っていました。色使いにもこだわり、優しい雰囲気生き物には明るい色、強い雰囲気魚には暗い色を使う工夫をし、自分の思い描いた作品を仕上げることができました。

（担任教諭 堀越 一颯）

選評

テレビや水ぞくかんを見学した時のことから、海の中のことを考えだし楽しい海の中を思いおこし、いろいろないきものの形をハサミを使ってつくり、どのように並べてみたら楽しい世界になるかを考えながらはんづくりに取り組んだと思われます。楽しい世界の感じを強めるために色の使い方にも工夫をしていますね。あか、みどり、あおとていねいにえらびぬき美しい画面になりました。

NHK水戸放送局長賞

金賞

カブトムシとそらをとんだよ

城里町立常北小学校（1年）若松 綾人さん



プロフィール

明るくはきはきとしたあいさつができる綾人さんは、毎朝元気に登校し、進んで名札を配ったり、自主的にドリル学習を進めたりできるやる気満々のがんばり屋さんです。休み時間になると、みんなに声をかけて、遊びの中心になって遊んでいます。何事にも積極的に、読書も百マス計算も張り切って取り組んでいます。絵を描くことも大好きで、電車や車、虫をよく見て細かいところまで丁寧に描き上げています。

今回の作品は、「生き物となかよし」のテーマのもと、大好きなカブトムシに乗って、空を飛んでいる様子を想像しながら、作り上げました。大きなカブトムシに友達と一緒に飛びついて、楽しく冒険しているような作品になりました。

（担任教諭 所 郷子）

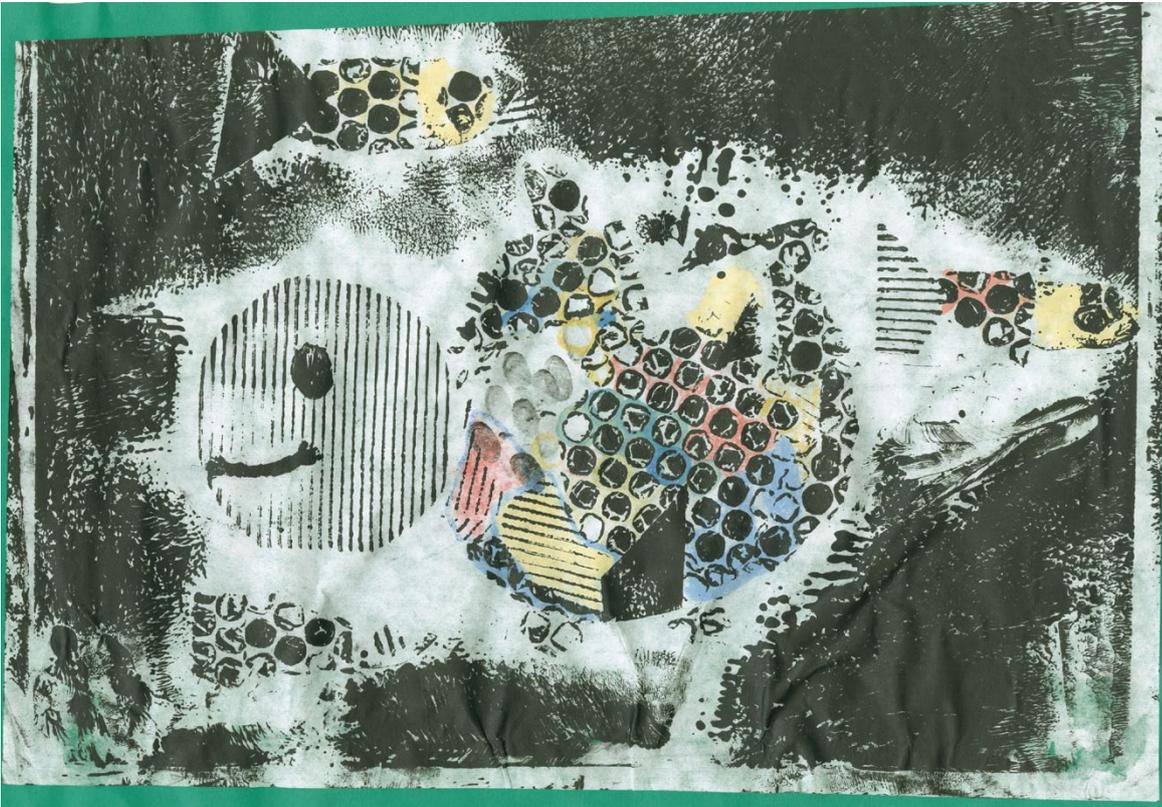
選評

どんなことから空想を考えたのかはわからないが、綾人君ははんづくりをたっぷり楽しんでたことだろうと思います。

ハサミで紙を切り大きなカブトムシをつくり、次にぼくともだちをつくり二人で飛ぶことを思いつきこの形になりました。しかし二人が大きすぎたので、りきれないのでこの形になりました。あとで木をかき地面をかくてとびあがったところにしたと思われ、いろいろと空想が楽しめる作品となりましたね。

ふしぎなカメのこうら

坂東市立七郷小学校（3年） 茂呂 百々花さん



プロフィール

百々花さんは、いつも学級の友達と仲良く、笑顔で生活しています。運動神経抜群で、休みの日はハンドボールのチームに所属し、選手として元気にがんばっています。絵を描くことも好きで、いろいろな絵を描いているうちにだんだん楽しく描けるようになってきました。

今回の作品は、色とりどりの甲羅をもつふしぎなカメが広い海の中を自由に泳ぎまわる姿を想像し、表現したそうです。プチプチシートや段ボール、色とりどりの画用紙を細かく切って並べ、貼り付ける作業を楽しみながら丁寧に行っていました。最後まで丁寧に作品を仕上げることができました。とてもがんばりましたね。

（担任教諭 宮本 明日美）

選評

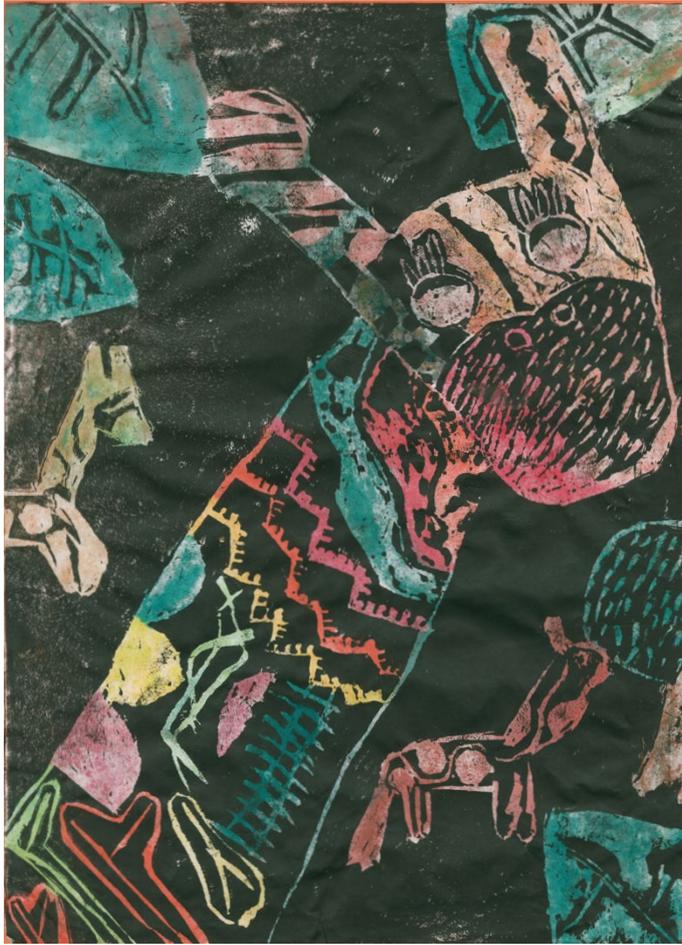
水ぞくかんに行った時のことを思い出しながら、はんづくりに入ったものと考えましたが、その時のカメのこうらに目をつけ紙をきめましたね。百々花さんのカメは頭が大きくて中に入っている魚の代表と感じこまかいところまで作りました。まさに魚をおよがせ、黒い色と色をつけない白い部分をのこし水の中をうまくあらわすことに成功しました。刷る時にも圧力の加え方にも気を使いましたね。

LuckyFM 茨城放送社長賞

金賞

夜に働くキリン

つくば市立栗原小学校（4年）佐藤 愛菜さん



プロフィール

佐藤愛菜さんは、ピアノを弾くのが得意で音楽が大好きな明るい子です。読書を好み、クラスの会社活動では友達のために、上手に本の読み聞かせをしてくれます。

今回の版画の作成では、初めて彫刻刀を使って板を彫るということに挑戦しました。キリンの体のデザインを考える際に、いろいろな意匠の線を使ったり、彫る線の太さを変えたりして、工夫することができました。また、夜の深い色とキリンの体の色を対比させて色付けし、インパクトのある作品を仕上げることができました。制作活動の間、集中して取り組む姿は大変素晴らしかったです。

（担任 狩野 みどり）

選評

画面左下から右上へと長く首を伸ばしたキリンさん。自由に思いつくままに彫り進められたのびのびとした表現、さらに思い思いの色での気ままな彩色が、見る者に自由な発想や想像を与えてくれます。笑っているようにも、ちょっと悲しそうにも、幸せそうにも、ちょっと苦しそうにも、そして何かを考えているかのようにも…。自由奔放に彫り進め、着彩しているからこそ夢のような作品となりました。夜になっても敵からの攻撃を避けるため、首を立てて周囲を警戒し立ったまま眠ることも多いキリンさん。いったい何を考えているのでしょうか。とてもファンタジックなステキな作品です。

銀賞

水ぞくかん

常陸大宮市立緒川小学校（1年）
松浦 光太郎さん



選評

ハサミを使い色うつしの紙のあつかい方にくふうをしてはんづくりをしていますね。光太郎君の黒いふくがよくできました。

銀賞

かわいいねこ

水戸市立柳河小学校（1年）
江幡 夏恋さん



選評

色うつしの紙をハサミを使って、ていねいな作業できれいな作品をつくりましたね。色のおき方がうまくなりました。

銀賞

ぴよんぴよんと とびうおたち

つくば市立栗原小学校（2年）

太田 時生さん



選 評

魚たちが楽しそうにとびはねているところを考へて海面の水の動きをそうぞうしたと思われますが、赤い色を効果的にきめましたね。

銀賞

草に いるねこ

水戸市立柳河小学校（2年）

宮永 希美さん



選 評

どうどうとしたトラねこですね。からだの色のつけかたをくふうして効果的な色使いになりましたね。

銀賞

キャンプでおいしいお魚 つれるかな

土浦市立東小学校（3年）

小島 瑚牧さん



選評

いろいろな動物がいて楽しいキャンプになったことでしょう。いろいろな色をうまく使っています。きっとおいしい魚もつれたことでしょう。

銀賞

ぎにとまるぶくろづ

常陸大宮市立緒川小学校（3年）

茂呂 龍希さん



選評

まよなか、いまとんできて木にとまるつとするところを考えて、彫刻刀のようなもので板状のものに線ぼりをして版づくりをして黄色い紙にすりこみました。

銀賞

ギザギザ

桜川市立眞壁学園義務教育学校（4年）
塚原 旭さん



選評

画面いっぱいに大きく不思議な魚、そして右隅には小さな魚に丸いカニ。陰刻線彫りで思うがままに、太い線細い線でギザギザギザ、シュツシュツシュツと勢いよく彫っています。トゲトゲ三角形がいっぱい、温かく冷たい水の中を自由に泳ぐギザギザ。不思議な魅力のある作品です。

銀賞

おなががすいているねこ

つくば市立栗原小学校（4年）
石田 弥珠希さん



選評

陰刻線彫りの特長を生かし、勢いよくのびのびと彫りを進め、花が咲き蝶が舞うなか、まるで画面から飛び出しそうなスピードでネズミを追う、やんちゃで元気いっぱいの猫を生き生きと表現できました。ネズミを追い見つめる猫の目が光っています。リズムカルで楽しい作品です。

銀賞

たった一匹だけの 黒いトンボ

坂東市立七郷小学校（5年）
宮本 瀬莉香 さん



選評

彩やかな朱色の背景、画面からはみ出すように大胆に羽を休める一匹のトンボ。簡略化されたトンボの体や羽の翅脈が印象的で画面全体から一匹のトンボの生命感が伝わってきます。まるで、19世紀フランスの工芸家エミール・ガレの作品を彷彿とさせるようなステキな作品です。

銀賞

鳥のすみか

水戸市立柳河小学校（5年）
小松崎 詩さん



選評

森の中、二羽の鳥。静かに葉が舞うなか、木の実をくわえた鳥が飛び、それを待つかのような鳥。それら青い鳥を守るかのように立つ木々、平穏な鳥たちのすみかを一版多色刷り木版画の良さを生かし表現しています。幸せの青い鳥でしょうか。温かで優しさ溢れるステキな作品です。

銀賞

白頭鷲の夜明け

つくば市立桜南小学校（6年）

畷名 薫さん



選評

まもなく夜明け、星が輝きまばゆい光が差し二羽の白頭鷲を照らしています。きらめく星々、朝の光、白頭鷲の特徴ある頭部にくちばし、そして鋭い眼光を丁寧に工夫して彫っています。張りつめた空気と空の王者白頭鷲の風格と威厳をみごとに表現したかっこいい作品です。

銀賞

自画像

常陸大宮市立緒川小学校（6年）

川上 紗季さん



選評

陽刻により、衣服のしわや鉛筆を持つ指、顔の表情など隅々までしっかりと彫られています。白黒のバランスもよく、落ち着いた彩色により、静かに集中して勉強する様子が画面全体から伝わってきます。木版画の良さが発揮された、誠実でたいへん好感の持てるすばらしい作品です。

常陸大宮市立緒川小学校



プロフィール

本校は、小瀬富士などの山々に囲まれた自然豊かな環境にあり、児童数七十五の小規模校です。「みんなでよくなる」という教育目標のもと、児童のよさや可能性を引き出せるよう日々の教育活動に取り組んでいます。

休み時間には、ほとんどの児童が校庭で元気に遊んでいます。

サッカーやなわとび、一輪車などの運動遊びだけでなく、校庭の生き物の観察、木の実や枯れ枝などを集めて創造遊びを楽しむ姿が本校の自慢の一つです。

図画工作の授業では、身体全体を使って感覚的に楽しみ発想を広げる造形活動を積極的に取り入れています。また、版画づくりには八年前から全校児童で取り組んでいます。各学年で表現方法が異なるため、児童は、毎年版画づくりを楽しみにしています。今年「動き」「表情」「大きさ」を意識し、一人一人が表したいことを作品として形にしました。刷り上がったときの「できたー」というきらきらした児童の笑顔は、創り出す喜びを味わうことができた証だと感じました。その一人一人のがんばりを、「最優秀学校賞」という形で認めていただき、心から感謝いたします。



プロフィール

栗原小学校は今年度創立二五〇周年を迎えた伝統のある学校です。令和八年度は学校の分離により、本校は「小規模特認校」として市内どこからでも通学できる学校になります。イェナプラン教育の理念を取り入れながら特色ある教育実践を目指し、

探究学習を基軸とした学びのスタイルに転換することで、自律的な学習者の育成に取り組んでいます。今年度はサークル対話の実践を中心とし、対話を大切にした取組を重視してきたことで、コミュニケーション能力の育成にもつながりました。

図工の時間には、一人一人が作品制作に熱中できる課題の設定や児童の発想を最大限に生かせるよう自由進度学習を取り入れる等、児童の探究的な学びを支援しています。今回の版画制作は多くの児童が自分にとって満足のいく作品を制作することができ、その結果がこの度の審査員奨励賞受賞につながりました。児童・教師ともたいへん光栄に感じています。

総 評

審査員

●
班 目 和 彦

元茨城県美術教育研究部部長

●
常 井 洋 一

元茨城県美術教育研究部部長

●
堀 江 俊 夫

元茨城県美術教育研究部部長

応募状況について

応募点数は、学年によって違いが大きく、一年生が一三七点、二年生が一六六点、三年生が三三三点と一番少なく、四年生が一番多い二二四点、五年生が一五五点、六年生が三五五点でした。全学年の合計は六五〇点で昨年よりも一六二点増加しました。二年連続で応募点数が増え、感謝いたします。

各学年の点数を見ますと、理由は分かりませんが、昨年度も今年度も一番多いのが四年生、二番目

に多いのが一年生でした。そして一番多い四年生は一番少ない学年の約六倍の点数です。単に応募するのが多かった・少なかっただけなのでしょう。六年間の年間指導計画の中で、版表現の活動が少しでも加わっている題材の配列を検討してみることも大切かもしれませんね。

学校応募ではなく個人応募された熱心な方々ありがとうございました。郵送された方、また本部に直接お持ちいただくなど、作品に配慮された方もありがとうございました。

応募作品の中に、出品カードはしっかりのリづけされているのですが縮小されているため文字が小さくなり読みづらいものがありましたのでご配慮ください。

審査について

審査は各学年ごとに、金賞・銀賞・銅賞・佳作までの候補になるであろうと思われる作品を二十点前後選出します。次に、一年生から順に六年生まで各学年ごとに、金賞一点・銀賞二点・銅賞五点を三名

で協議しながら選出し、決定します。ここで漏れた作品は佳作候補となり、学年ごとに若干名を佳作として選抜します。

個の審査の最後に、各学年一点の金賞作品六点到茨城県知事賞を始めとする六つの賞を決定し、中央コンクールに出品されます。

また、全学年に出品応募し入賞者も多い学校という条件をクリアしている学校(昨年度は該当校なし)に今年度は常陸大宮市立緒川小学校が最優秀学校賞に輝きました。緒川小学校は第49回・50回でも受賞しておりおめでとうございます。

もうひとつの学校賞の審査員奨励賞は、全学年出品ではなかったのですが入賞者の多かつたつくば市立栗原小学校が昨年に続いて受賞となりました。おめでとうございます。

作品について

近年の作品を見ると、明るく楽しさいっぱいのある作品が多いと感じます。しかし表現内容は人物の登場していない作品が多く子ども一人一人の身の回りの普段の生活から少し離れているようにも感じました。友だちとの遊びや触れ合い・家族やご近所の働く人々の様子・地域の行事やお祭りなど日常の出来事を題材とした作品が

少なく、例年似たような題材が多くなっている気がします。

現在の子どもたちの興味関心があること、表現したくなるような題材とはどんなものなのか、子ども視線でもう一度考える必要があると思われる。

おわりに

一人一人が作品づくりの中で課題を解決しようと考え、判断し、実践していきます。時には思い通りいかないこともあるでしょうがただ楽しいだけではありません。活動をしながら成長しているのです。自由で新鮮で活気あるその子なりの学習が展開されることを期待しています。



応募学校一覧

常陸大宮市・常陸大宮市立緒川小学校

石岡市・石岡市立吉生小学校

城里町・城里町立常北小学校

水戸市・茨城県立水戸聾学校

・水戸市立柳河小学校

坂東市・坂東市立七重小学校

・坂東市立七郷小学校

つくば市・つくば市立桜南小学校

・つくば市立栗原小学校

下妻市・茨城県立下妻特別支援学校

桜川市・桜川市立真壁学園義務教育学校

常総市・常総市立五箇小学校

つくばみらい市・つくばみらい市立
富士見ヶ丘小学校（個人）

土浦市・土浦市立東小学校（個人）

これまでの作品テーマ

回	年度	種別	テーマ
1	1973	作文のみ	火事
2	1974	作文 版画	はたらく人
3	1975	作文 版画	たすけあい
4	1976	作文 版画	仲間
5	1977	作文 版画	いのちをたいせつにする
6	1978	作文 版画	遊ぶ
7	1979	作文 版画	私の家族
8	1980	作文 版画	ぼくの失敗・わたしの失敗 育てる
9	1981	作文 版画	夢中になってつくる 力をあわせる
10	1982	作文 版画	心を強くうたれたこと 働く
11	1983	作文 版画	父母（祖父母）と戦争 元気に遊ぶ
12	1984	作文 版画	自然とともに 道具を使う
13	1985	作文 版画	助けたこと、助けられたこと なかよし
14	1986	作文 版画	私のまち・むらの暮らし
15	1987	作文 版画	おまつり
16	1988	作文 版画	くるまと私たちの生活
17	1989	作文 版画	動物とわたし 自由課題
18	1990	作文 版画	ぼく（わたし）の夢 自由課題
19	1991	作文 版画	たいせつなもの 自由課題
20	1992	作文 版画	私と家族 自由課題
21	1993	作文 版画	交通の発達とわたしたちの暮らし 自由課題
22	1994	作文 版画	わたしたちの大切な友だち 自由課題
23	1995	作文 版画	わたしの大好きなこと、大好きなもの 自由課題
24	1996	作文 版画	ぼくの、わたしの通学路 自由課題
25	1997	作文 版画	ぼくの夢、わたしの夢 自由課題
26	1998	作文 版画	ぼくの家族、わたしの家族 自由課題

回	年度	種別	テーマ
27	1999	作文 版画	たのしいこと・うれしいこと 自由課題
28	2000	作文 版画	失敗したこと・うまくいったこと 自由課題
29	2001	作文 版画	不思議なこと・わからないこと 自由課題
30	2002	作文 版画	好きなこと・やりたいこと 自由課題
31	2003	作文 版画	ぼくのゆめ・わたしのゆめ 自由課題
32	2004	作文 版画	ぼくの・わたしの宝物 自由課題
33	2005	作文 版画	ぼくの・わたしの大切なひと 自由課題
34	2006	作文 版画	ぼくから・わたしからの『ありがとう』 自由課題
35	2007	作文 版画	未来のぼく・わたしへ 自由課題
36	2008	作文 版画	ぼくが・わたしが「できること」 自由課題
37	2009	作文 版画	ぼくの・わたしの「将来のゆめ」 自由課題
38	2010	作文 版画	だいすきなもの 自由課題
39	2011	作文 版画	たのしかったおもいで 自由課題
40	2012	作文 版画	たすけあい 自由課題
41	2013	作文 版画	もしも1だけ願いがかなうなら 自由課題
42	2014	作文 版画	ぼくの・わたしのたからもの 自由課題
43	2015	作文 版画	ぼくの・わたしの未来～こんなおとなになりたいな～ 自由課題
44	2016	作文 版画	わすれられないこと 自由課題
45	2017	作文 版画	つづけていきたいこと 自由課題
46	2018	作文 版画	どきどき・わくわくしたいこと 自由課題
47	2019	作文 版画	新しく挑戦をしたこと 自由課題
48	2021	作文 版画	新しく見つけたこと・気づいたこと 自由課題
49	2022	作文 版画	ぼくたち・わたしたちの学校 自由課題
50	2023	作文 版画	自由課題
51	2024	作文 版画	忘れたくないこと 自由課題

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 

茨城推進本部

〒310-0804 水戸市白梅 1-1-10 TEL.029-227-6642

共済ショップ日立店 〒317-0073 日立市幸町 2-3-10 TEL.0294-22-6031
共済ショップ水戸店 〒310-0804 水戸市白梅 1-1-10 TEL.029-227-6035
共済ショップ鹿嶋店 〒314-0033 鹿嶋市鉢形台 2-1-7 TEL.0299-84-6031
共済ショップつくば店 〒305-0033 つくば市東新井 17-3 TEL.029-858-6031
共済ショップ牛久店 〒300-1234 牛久市中央 1-16-1 TEL.029-873-8201
共済ショップ守谷店 〒302-0115 守谷市中央 1-20-3 TEL.0297-46-0631